

ヘッドライン

1. 第25回学術研究大会の開催報告
2. 2018/2019年度北東アジア学会優秀論文賞・学生奨励賞授与
3. 第26回学術研究大会開催予定
4. 関西地域研究会、西日本研究会開催予定
5. 韓国東北亜経済学会2019年大会派遣報告
6. 吉林大学東北アジア研究院との交流報告
7. 第9期第3回常任理事会(2019年1月26日)議事録
8. 第9期第3回理事会(2019年7月6日)議事録
9. 2018/19年度総会開催報告

1. 第25回学術研究大会開催報告

北東アジア学会 第25回 学術研究大会「朝鮮半島情勢と北東アジア域内連携の緊密化」
令和元(2019)年9月28日(土)・29日(日) 信州大学経済学部(松本市)～新棟～

9月28日(土) 第1講義室	13:00～	【関係者のみ】10:00-12:00 第9期第5回理事会(4階401演習室) / 12:00-13:00 シンポジウム打ち合わせ(4階・[経法]研究会室)		
	13:30～	受付: 1階 ロビー		
	13:35-15:05 報告:各30分	シンポジウム「朝鮮半島情勢と北東アジア域内連携の緊密化」(司会:三村光弘): 第1講義室(1階) * 開会の辞 北東アジア学会 松野周治会長		
	15:05-15:50	1. 鄭恩伊(韓国・統一研究院)「북한 개발과 동북아 지역에서의 경쟁: 공장기업소의 혁신과 발전을 중심으로」(北朝鮮開発と北東アジア地域における競争:工場企業所の革新と発展を中心に) 2. 安国山(延辺大学朝鮮半島研究院経済研究所長/教授)「『一帯一路』イニシアチブ(倡议)下图们江地域国際物流協力」 3. 新井洋史(環日本海経済研究所)「ロシアの東方シフト政策と朝鮮半島」		
	15:50-16:00	コメント:各15分 1. 文京洙(立命館大学) 2. 総田芳憲(立命館アジア太平洋大学) 3. 岡洋樹(東北大学)		
	16:00-17:30	休憩		
	18:00-20:00	パネルディスカッション・一般討論 ※ 懇親・交流会: 信大附属病院5階 レストラン「ソレイユ」/歓迎の辞: 山沖義和・信州大学経済学部長 (参加費5,000円、院生・海外会員3,000円)		

分科会(目安): 報告25分 討論5分 フロア質疑・リブライ10分

29日(日) 9:00-11:00	会場A (2階・経法202/会議室A)				会場B (2階・経法203/法科講義室)		会場C (4階・401演習室)		会場D (5階・第4講義室)	
	分科会	IA: ロシアと国際関係【北大・人間文化研究機構基幹研究プロジェクト】「北東アジア地域研究」(北海道大学拠点)共催	IB: 中国		IC: 観光		ID: 韓国・東北亜経済学会共催①【韓国語】			
座長	三村光弘(環日本海経済研究所)	唱新(福井県立大学)		榎谷圭司(新潟県立大学)		鄭雅英(立命館大学)				
報告1	加藤美保子(北海道大学)	ロシアと朝鮮半島の接近—大国外交と地域開発のはざままで	河原昌一郎(福井県立大学)	中国農村土地負債経営権の法的内容の変化と制度的課題—農村土地請負法2018年改正内容から—	青木卓志(金沢星稜大学)	訪日外国人と広域圏の関連性に関する比較	고정식(高進シンク/培材大学校)	米国と中国の産業および貿易構造と貿易戦争		
討論1	三村光弘(環日本海経済研究所)	李焱求(培材大学校)【通訳あり】		竹村卓(富山大学)		金早雪(信州大学)				
報告2	伏田寛範(日本国際問題研究所)	北東アジア地域にみる中ロ関係	大平哲(慶應義塾大学・李慶(慶應義塾大学・院)	中国の2000年代の投資財生産部門の過剰拡大:消費財・投資財2部門分割データが示唆すること	梁春香(東洋大学)	国際観光コミュニティの形成について	강철구(カン・チオルグ/培材大学校)	日本3大学メガバンク収益転換時期に関する分析		
討論2	堀内賢志(静岡県立大学)	青木周平(信州大学)		吉田均(山梨県立大学)		李紅梅(吉林大学)				
報告3	堀江典生(富山大学)	ロシアにおける反移民感情のランドスケープ	石建中(中国海洋大学)・尹清洙(長崎県立大学)	政府の制度と民間のネットワークが都市の観光イノベーションに与える影響についての実証分析—山東省の都市別横断面データを用いて	朴在徳(名枝大学)	ホスピタリティのマーケティングについて	김정인(金正仁/中央大学校)	南北朝鮮山林協力の効率的達成方策		
討論3	宮島美花(香川大学)	大西広(慶應義塾大学)		詹秀娟(新潟産業大学)		川口智彦(日本大学)				

29日(日) 11:00-13:00	会場A (2階・経法202/会議室A)		会場B (2階・経法203/法科講義室)		会場D (5階・第4講義室)	
	分科会	IIA: 社会・文化・ナショナリズム	IIB: 一帯一路		IID: 韓国・東北亜経済学会共催②【韓国語】	
座長	新井洋史(環日本海経済研究所)		海老原毅(富山高等専門学校)		川口智彦(日本大学)	
報告1	齋藤久美子(和歌山大学)	ロシアにおける経済体制の変化とロシア語への影響—会計学の場合	大西広(慶應義塾大学)	ラオスの鉄道建設は中国の債務外交か	유자영(ユ・ジャヨン/韓南大学校)	中国のスマートシティ産業の特徴分析
討論1	岡本勝規(富山高等専門学校)	峯田史郎(早稲田大学)		文京洙(立命館大学)		
報告2	魏珊(中山大學)	公衆衛生分野における日中協力—非伝統的な安全保障理論の観点から	朱永浩(福島大学)	中国の対外経済戦略と「一帯一路」の進展	이혁구(李焱求/培材大学校)	中国の農村土地財産権の制度変遷に関する研究【通訳あり】
討論2	若月章(新潟県立大学)	松野周治(立命館大学)		河原昌一郎(福井県立大学)【通訳あり】		
報告3	鄭雅英(立命館大学)	中国朝鮮族のナショナルな帰属意識をめぐって—国共内戦期を中心に	N. 리야리야(長崎大学)	中国の地域戦略—中央アジアにおける「一帯一路」構想の政治経済的諸相と課題【英語】		
討論3	宮島美花(香川大学)	松村史紀(宇都宮大学)				

13:20~14:20 新棟1階 第1講義室【昼食・総会】(お弁当+お茶 1,000円)

29日(日) 14:30	III A: 域内経済交流・協力		III B: 朝鮮半島		III C: 吉林大学東北亜研究院共催 特別セッション【中国語/通訳】		III D: 信州大学院「地域社会イニシアティブ」修士修了生特別セッション(テーマ研究)	
	座長	林堅太郎(立命館大学)		尹清洙(長崎県立大学)		松野周治(立命館大学)		金早雪(信州大学)
報告1	權哲男(延辺大学)	北東アジア地域多国籍間経済協力の機運と経路	繩倉晶雄(明治大学)	韓国における地域主義二党制:国会議員の視点から	龐徳良(吉林大学)	新時代からこそ構築すべき中国東北地域対外開放の新構造(新时代构建中国东北对外开放新格局)	本島和人(飯田市歴史研究所)	満洲移民送出の地域史研究—信州・下伊那を中心に—
討論1	坂田幹男(大阪商業大学)	生駒智一(立命館大学・院)		唱新(福井県立大学)		南誠(長崎大学)		
報告2	菅沼桂子(日本大学)	日系企業の対ロシアビジネス:問題とその対応	魏志江(中山大學)	朝鮮半島地域安全複合体とその社会的構築について	崔健(吉林大学)	日本と北東アジア諸国間の貿易潜在力分析(日本与东北亚国家贸易潜力分析)	橋住真一(安曇野国際ネットワーク)	信州・安曇野地域における多文化共生実践レポート—遠い道のりも一歩から—
討論2	堀江典生(富山大学)	海老原毅(富山高等専門学校)		大西広(慶應義塾大学)		佐藤友則(信州大学)		
報告3	李紅梅(吉林大学)	中日韓物流協力に関する一考察	陳卓(中山大學)	朝鮮半島情勢の新たな展開及び中国と朝鮮民主主義人民共和国との関係の変化に関する調査	林麗敏(吉林大學)	日本の介護保険制度に関する一考察(日本介護保険探析)	西澤俊幸(美須ヶ丘高校)	韓国マイスター—高校10年の成果と課題
討論3	辻久子(環日本海経済研究所)	朱永浩(福島大学)		陳怡禎(日本大学)		繩倉晶雄(明治大学)		

2. 2018/2019年度北東アジア学会優秀論文賞・学生奨励賞授与

●2018/19 年度北東アジア学会優秀論文賞が授与されました。

柳学洙会員「朝鮮民主主義人民共和国の工業配置政策—企業レベルデータを用いた均等配置原則の実証的検

証—」『アジア経済』第59巻第2号

●2018/19 年度北東アジア学会学生奨励賞は応募がありませんでした。

3. 第26回学術研究大会開催予定

第26回大会を新潟県立大学(新潟市)で開催します。

日程は2020年9月26日(土)～27日(日)で調整中。

4. 関西地域研究会、西日本研究会開催予定

●第1回関西地域研究会

日時：2020年1月11日(土) 15:00～17:30

場所：立命館大学末川記念会館第3会議室 (立命館大学衣笠キャンパス)

〒603-8346 東京都北区等持院北町56-1・075-465-8234

<http://www.ritsumeit.ac.jp/campusmap/kinugasa/>

名称：立命館大学東アジア平和協力研究センター・北東アジア学会共同研究会

主催：立命館大学東アジア平和協力研究センター、北東アジア学会

報告：

高屋和子(立命館大学経済学部)

「中国の対外投資と貸付—CHINA'S OVERSEAS LENDING」Sebastian Horn et.al., NBER Working Paper 26050, July 2019 をもとに—

討論：中戸祐夫(立命館大学国際関係学部)

関智焄[ミン・ジフン](立命館大学衣笠総合研究機構)

「李承晩政権の在日コリアン政策：政治的な包摂と排除からの考察」

討論：川口智彦(日本大学国際関係学部)

5. 韓国東北亜経済学会2019年大会派遣報告

2019年韓国東北アジア経済学会の国際学術大会が2019年2月14日、ソウルの成均館大学で開催された。本年度の全体テーマは「グローバル環境変化に対応する東北アジアの新経済協力」で、午前3報告、午後のセッションAで5報告、同セッションBで4報告、そして共同セッションで4報告があった。

本学会からは松野会長、金早雪会員、縄倉晶雄会員、川口が参加し、各セッションで報告をした。報告タイトルは下記の通りである。

・松野周治 “The Northeast Asian Economic Area, Reconsidered”

・縄倉晶雄 「蠟燭集会の制度圏政治に対する影響力分析：2016年朴槿恵退陣運動の代議民主主義的側面」(原文韓国語)

・金早雪 「1980～1997年までの経済成長と社会保障体制の形成」(原文韓国語)

・川口智彦 「北朝鮮のインターネットメディアに関する研究」(原文韓国語)

13日夜と14日夜にはそれぞれ非公式、公式の懇親会が開催され、韓国学会の新旧会長らと親交を深めた。

韓国学会の会員は9月に開催される本学会の信州大学大会に大きな関心を示し、10人規模の会員が参加意思を表明した。

韓国東北アジア経済学会との研究交流は、今後、ますます深まっていくのではないかというのが同学会大会に参加しての印象である。



(川口智彦会員)

6. 吉林大学東北アジア研究院との交流報告

北東アジア学会・吉林大学東北アジア研究院主催、吉林大学日本研究所・吉林大学東北アジア研究センター共催の国際学術シンポジウムが2019年7月14日、中国長春市の吉林大学で開催された。今回のシンポジウムのテーマは『「一帯一路」視野下に北東アジア経済協力』（「一帯一路」視角下東北亜経済合作）で、第1セッションで2報告、第2セッションで2報告があった。本学会からは松野周治会長、朱永浩会員が参加し、崔健（吉林大学東北アジア研究院教授）、扈徳良（同副院長・教授）とともに国際シンポジウムで報告をした。報告タイトル（使用言語）は下記のとおりである。

【第1セッション】

・松野周治「世界経済の不均衡と日中経済協力の意義—両国の発展段階を踏まえて」（論新時期的中日経済関係）（報告、日本語）

・崔健「“一帯一路”框架下中日両国与第三方市場貿易關係的比較研究」（「一帯一路」枠組みにおける中日両

国と第三方市場貿易關係の比較研究）（報告、中国語）

【第2セッション】

・扈徳良「新時代中国東北対外開放新機遇、新格局、新挑戦」（新時代における中国東北地域の対外開放の新たなチャンス・構図・挑戦）（報告、中国語）

・朱永浩「“一帯一路”進程中的東北亜物流」（「一帯一路」の進展と北東アジア物流）（報告、中国語）

7月13日・14日の夜には懇親会が開催され、吉林大学東北アジア研究院の于瀟院長、扈徳良副院長、呉昊副院長、王彦軍副院長、崔健教授、李紅梅准教授らと親交を深め、今後、北東アジア学会と吉林大学東北アジア研究院との研究交流を一段と深化させていくことで一致した。また吉林大学東北アジア研究院の皆様は9月28日～29日に開催される本学会の信州大学大会に大きな関心を示し、4名の研究者が参加意思を表明した。

（朱永浩会員）

7. 第9期第3回常任理事会（2019年1月26日）議事録

北東アジア学会第9期第3回常任理事会議事録

日時：2019年1月26日（土）11:30～13:30

場所：富山大学経済学部7階中会議室

出席者：松野、堀江、三村、川口、岡本、堀内、高屋
0 前回（2018年4月21日、第2回常任理事会）議事録承認【資料0】

I 報告事項

1. 事務局

1.1 北東アジア学会第9期第3回理事会(2018年9月29日)議事録(案)【資料1】

※第3回常任理事会を2019年1月12日としていた(3.7.次回日程)が、富山大学でのシンポジウム開催(I3a)に合わせて1月26日に変更した。

1.2 北東アジア学会2017/18年度総会議事録(案)【資料2】

1.3 その他

2. 第24回学術研究大会・総会【資料3】

台風による2日目分科会の中止と、報告原稿（フルペーパー）の9月30日までの提出によって報告とすることを29日開催の理事会において決定。中止となった分科会については、地域研究会やシンポジウムとしての開催が追求され、以下のように随時開催。1日目大会出席者50名。

分科会報告、フルペーパー提出者の確認。フルペーパーのHP掲載確認。学会誌にも結果を報告。分科会報告の証明は、希望があれば対応していくことを確認。

3. 地域研究会→松野会長、川口常任理事より報告

a. 北東アジア学会・立命館大学アジア・日本研究所共催特別ワークショップ

日時：2018年11月23日（金・祝）14:40～17:50

場所：立命館大学朱雀キャンパス217号室

報告：

宋基榮（ソン・ギヨン、立命館大学非常勤講師）「北朝鮮におけるスポーツの政治的活用に関する研究—金正恩時代を中心に—」

馬場一輝（立命館大学・院）「2002年小泉総理・ケリー国務次官補の2つの訪朝の連関性—2レベル・ゲームによる日朝交渉モデルの検討—」

生駒智一（立命館大学・院）「三金時代における金鍾泌の存在意義—接着剤としての金鍾泌」

討論：川口智彦（日本大学）、討論2：文京洙（立命館大学）
第2部：「朝鮮半島をめぐる国際関係」（16時20分～17時50分）
座長（司会）文京洙（立命館大学）

問題提起：中達啓示（立命館大学）、崔正勲（立命館大学）、川口智彦（日本大学）、今村弘子（富山大学・名）

b. 北東アジア学会関東地域研究会・公開セミナー

日時：2018年12月2日（日）10:00～13:00（公開セミナーは14:00～17:00）

場所：慶應義塾大学三田キャンパス研究棟1階A会議室

報告：

秦 雄一（東レ）「2016年台湾「総統」選挙についての所得階級、年齢、性別、学歴別の投票分析--」

史 金凱（創価大学大学院）「中国本土憲法学の生誕と明治憲法学」

呉 迪 (慶應義塾大学大学院) 「『2016年台湾「総統」選挙についての所得階級、年齢、性別、学歴別の投票分析--」

横田将志 (日本大学大学院) 「北東アジアの環境協力の強化と非リジョン・アクター」

李 晨 (慶應義塾大学大学院) 「労働供給変化と技術進歩を考慮した中国の経済成長に関する新しい予測」

公開セミナー「米朝会談後の北東アジアの国際関係」14:00-17:00
報告:

佐渡友哲 (日本大学) 「中朝国境地域における越境交流圏の可能性」

大西 広 (慶應義塾大学) 「覇権交代論から見た米朝会談後の国際関係」

川口智彦 (日本大学) 「朝鮮半島情勢を見る周辺国研究者の視点」

縄倉昌雄 (明治大学) 「南北会談を可能とした韓国社会運動—2016年ろうそく集会を事例として」

李 乙鎮 (日本大学大学院) 「北朝鮮関係変化と在韓脱北者団体の関係」

c. 人間文化研究機構基幹研究プロジェクト「北東アジア地域研究」／北東アジア学会連携シンポジウム「北東アジアの鳴動：朝鮮半島，中露国境地域，蒙中露辺境」

日時：2019年1月26日(土)、27日(日)

場所：富山大学経済学部7階大会議室

2019年1月26日(土) 14:00～14:15

開会の辞 遠藤俊郎 (富山大学長)、松野周治 (北東アジア学会長)、堀江典生 (富山大学研究推進機構極東地域研究センター長)
14:15～16:15 セッション1 ロシアと朝鮮半島問題 (学会連携企画)

三村 光弘 (公益財団法人環日本海経済研究所)：朝鮮半島問題と周辺国の関与

加藤美保子 (北海道大学)：プーチン時代の対北朝鮮政策：軌跡と展望

堀江典生 (富山大学)：ロシアの東方政策と朝鮮半島問題

座長：堀江典生 (富山大学)

討論：福原裕二 (島根県立大学) 堀内賢志 (静岡県立大学) 松野周治 (立命館大学)

16:30～18:30 セッション2 朝鮮半島問題における多層的視座 (北大・富山大拠点企画)

福原裕二 (島根県立大学)：北朝鮮の『安全の保障』から見た非核化問題

池 直美 (北海道大学)：『故郷は遠きにありて思うもの』：脱北者を取り巻く現状と課題

柳 学洙 (東京大学)：北朝鮮経済の『市場化』：現状と今後の展望

座長：馬 駿 (富山大学)

討論：三村光弘 (公益財団法人環日本海経済研究所) 天野尚樹 (山形大学) 金 奉吉 (富山大学)

19:30～21:00 懇親会 (会費実費制)

2019年1月27日(日)

10:00～12:00 セッション3 中露国境地域の新たな可能性

(北大拠点企画)

岩下明裕 (北海道大学)：ボーダースタディーズにおける中露国境地域の意味

中村正人 (『地球の歩き方』編集者)：ボーダーツーリズム：中国東北地方21の国境物語

朱永浩 (福島大学)：中露国境貿易の過去と現在

座長：田畑伸一郎 (北海道大学)

討論：堀江典生 (富山大学) 松野周治 (立命館大学) 高屋和子 (立命館大学)

13:00～15:00 セッション4 蒙中露辺境における多民族共生 (東北大企画)

広川佐保 (新潟大学)：近代モンゴルに暮らした漢人の歴史—「旅蒙商」から

「労働者」そして「蒙古帰僑」へ

サヴェリエフ・イゴリ (名古屋大学)：第一次世界大戦期の在露中国人の越境的空間

藤原克美 (大阪大学)：満洲国における百貨店の役割

橘 誠 (下関市立大学)：モンゴル国における関税をめぐる露中の「交渉」：20世紀初頭の外交と多民族共生

座長：堀江典生 (富山大学)

討論者：岡 洋樹 (東北大学)

15:00 閉会の辞

d. 関西地域研究会 (予定)

日時・場所：2019年4月20日(土)午後、大阪教育大学天王寺キャンパスで開催。

報告を公募(2名程度)。

国際高麗学会との共催等について検討する。

研究会の前に第4回常任理事会を開催する。

e. 北東アジア学会 2019年西日本地域研究会の開催について

日時・場所：2019年6月、立命館アジア太平洋大学(大分県別府市)での開催を計画(6/1・2、15・16、土・日の1日あるいは2日。会場確保の後、東アジア学会との共催を申し入れる。報告を公募。テーマは朝鮮半島。日程は5月25日か6月1、2日)

f. その他

4. 編集委員会【資料4】→松野会長が代理で報告。外部査読候補者についてはペンディング。書評者候補依頼。投稿表...継続審議

5. 会計

2018/19年度1回目の会費請求を2018年11月20日に実施。次回は4～5月頃。2018/19年度の出納経過報告について別紙の通り。

6. 学術会議等交流事業

7. 国際交流事業→松野会長より報告、三村副会長、川口副事務局長より図們江フォーラム(昨年10月は参加できず)について報告

- a. 権哲男・延辺大学経済管理学院院長、沈海濤・吉林大学東北アジア研究センター副センター長が第24回大会シンポジウムに参加（報告論文を加筆修正のうえ、会誌に掲載予定）。
 - b. 東北アジア地域をテーマとする国際学術交流研究会の開催（～2019年7月）と北東アジア学会からの参加について、吉林大学および延辺大学に依頼中。
 - c. その他
8. その他
- II 協議事項
1. 入会、退会、会員種別変更→承認
 - a. 入会：【回覧・資料5】
顧歩青（院生）、Nurgaliyeva Lyailya（一般）、吳迪（院生）、邱春光（一般）
葉亭亭（海外通信）、金向東（海外通信）
 - b. 退会：
尹明憲会員
鹿島正裕会員、崔永鎬会員、張智程会員、野村允会員、丸屋豊二郎会員
*メール等で退会の意思を表明されても、退会届が未提出の場合の扱いをどうするか→意思表示があれば認める
 - c. 会員種別変更：崔穎麗（学生→海外通信）
 2. 2018/19年度学会優秀論文賞、学生奨励賞の募集について→例年通り。6月末募集締め切り。告知を2月中旬に
 3. 韓国東北亜経済学会との交流について<川口先生>→川口常任理事より報告。松野会長、川口常任理事、金、繩倉、李が参加予定。全員報告予定。費用については、4名の交通費補助を確認。1名分の宿泊費が自費になるが、それは松野会長と川口常任理事が折半。3名2泊は先方。
東北亜経済学会 2019年大会（2/14、成均館大学、ソウル）
 4. 新たな国際学術交流協定締結事業について→特になし
 5. 第25回学術研究大会（2019年9月28日～29日、信州大学、長野県松本市）について→日程、会場、報告募集について2月には告知開始。共通論題については2月の告知では告知しない。プログラム委員会のあり方…会則12条の委員に基づく。開催校の支援。人選は学会長に一任。2月韓国学会参加時に、松野会長、川口常任理事、金実行委員長で共通論題を固める。委員は松野会長、金、三村、若月、道上、川口。追加ありうる
6. 第26回学術研究大会（2020年秋、新潟県立大学、新潟市）について
日本平和学会（黒田俊郎会長：新潟県立大学副学長）との共催について→承認
 7. 学会 HP 更新等支援アルバイト依頼について【資料6】→承認。業務表（TA用などを流用）、請求
 8. 学術会議等国内学術研究団体との交流について
 - 8.1 会費納入について→東洋学・アジア研究連絡会議については、滞納分の支払いと退会連絡を高屋から行う。GEAHSS（財政状況が厳しく、会費負担が発生する場合は退会の可能性ありとの連絡を高屋から行う）
東方学会【回覧・資料7】、GEAHSS【回覧・資料8】
 - 8.2 現在の加入団体と北東アジア学会の役割について。地域研究学会連絡協議会（JCASA）、日本学術会議・総会等への要請→常任理事 ML への連絡と出席要請
・会員への情報提供（シンポジウムや研究会合等）→会員 ML への転送
・その他
→確認。
 9. 地域研究会での若手研究者の報告に対する交通費補助について
若手研究者：学生会員、定職を持たない 50歳未満の研究者
交通費補助：実費、上限3万円、年間1回限り。
その他の受給条件：会費を滞納していないこと。
適用時期：2018/2019年度～
 10. 「つうしん」発行予定
第52号（2019年2月）：
2019年大会告知
2018/19年度学会優秀論文賞、学生奨励賞の募集
2018年大会報告。
総会報告・予決算。理事会・常任理事会報告など。
第53号（2019年7月）
2019年大会プログラム、参加申し込みなど。
 11. 会議日程
 - 9.1. 第4回常任理事会：4月20日（土）（大阪教育大学）11：00～13：00。
関西地域研究会を理事会後開催する（13：30～17：30予定）
 - 9.2. 第4回理事会：7月、信州大学
理事会の中で大会会場見学もあわせて実施する。
地域研究会の開催を検討する。
 12. その他

8. 第9期第3回理事会（2019年7月6日）議事録

会場：信州大学経済学部 4階 研究会室

出席者：松野、新井、岡本、川口、金、櫛谷、松村、三村、若月、高屋

1. 前回（第3回2018年9月29日）理事会議事録承認【資料1】

2. 報告事項

2.1. 常任理事会報告（第3回：2019年1月26日、第4回：2019年4月20日）【資料2, 3】

2.2. 事務局

a. 中藤康俊・元理事（第1期～第7期）のご逝去（2019年5月13日）について→松野会長より報告。弔電

b. 「つうしん」52号発行→24回大会の報告に漏れがあったため53号に訂正版を掲載する

c. 学会HP更新・追加→松野会長より報告
今後の課題：学会誌FES（統合のお知らせ、バックナンバー：13号～15号）、執筆要項
英文ページ（内容など）、関連リンク、入会申込書

Word Pressによる新HP試作版

<http://anears2.sakura.ne.jp/example/>

2.3. 地域研究会

a. 北東アジア学会・立命館大学アジア・日本研究所
共催特別ワークショップ

日時：2018年11月23日（金・祝）14:40～17:50

場所：立命館大学朱雀キャンパス217号室

b. 北東アジア学会関東地域研究会・公開セミナー

日時：2018年12月2日（日）10:00～13:00（公開セミナーは14:00～17:00）

場所：慶應義塾大学三田キャンパス研究棟1階A会議室

報告：秦 雄一（東レ）「『2016年台湾「総統」選挙についての所得階級、年齢、性別、学歴別の投票分析--」

史 金凱（創価大学大学院）「中国本土憲法学の生誕と明治憲法学」

呉 迪（慶應義塾大学大学院）「『2016年台湾「総統」選挙についての所得階級、年齢、性別、学歴別の投票分析--」

横田将志（日本大学大学院）「北東アジアの環境協力の強化と非リージョン・アクター」

李 晨（慶應義塾大学大学院）「労働供給変化と技術進歩を考慮した中国の経済成長に関する新しい予測」

公開セミナー「米朝会談後の北東アジアの国際関係」
14:00-17:00

報告：佐渡友哲（日本大学）「中朝国境地域における越境交流圏の可能性」

大西 広（慶應義塾大学）「覇権交代論から見た米朝会談後の国際関係」

川口智彦（日本大学）「朝鮮半島情勢を見る周辺国研究者の視点」

繩倉昌雄（明治大学）「南北会談を可能とした韓国社会運

動—2016年ろうそく集会を事例として」

李 乙鎮（日本大学大学院）「北朝鮮関係変化と在韓脱北者団体の関係」

c. 人間文化研究機構基幹研究プロジェクト「北東アジア地域研究」／北東アジア学会連携シンポジウム「北東アジアの鳴動：朝鮮半島，中露国境地域，蒙中露辺境」

日時：2019年1月26日（土）、27日（日）

場所：富山大学経済学部7階大会議室

2019年1月26日（土）14：00～14：15

開会の辞 遠藤俊郎（富山大学長）、松野周治（北東アジア学会会長）、堀江典生（富山大学研究推進機構極東地域研究センター長）

14：15～16：15 セッション1 ロシアと朝鮮半島問題（学会連携企画）

三村 光弘（公益財団法人環日本海経済研究所）：朝鮮半島問題と周辺国の関与

加藤美保子（北海道大学）：プーチン時代の対北朝鮮政策：軌跡と展望

堀江典生（富山大学）：ロシアの東方政策と朝鮮半島問題
座長：堀江典生（富山大学）

討論：福原裕二（島根県立大学）堀内賢志（静岡県立大学）松野周治（立命館大学）

16：30～18：30 セッション2 朝鮮半島問題における多層的視座（北大・富山大拠点企画）

福原裕二（島根県立大学）：北朝鮮の『安全の保障』から見た非核化問題

池 直美（北海道大学）：『故郷は遠きにありて思うもの』：脱北者を取り巻く現状と課題

柳 学洙（東京大学）：北朝鮮経済の『市場化』：現状と今後の展望

座長：馬 駿（富山大学）

討論：三村光弘（公益財団法人環日本海経済研究所）天野尚樹（山形大学）金 奉吉（富山大学）

19：30～21：00 懇親会（会費実費制）

2019年1月27日（日）

10：00～12：00 セッション3 中露国境地域の新たな可能性（北大拠点企画）

岩下明裕（北海道大学）：ボーダースタディーズにおける中露国境地域の意味

中村正人（『地球の歩き方』編集者）：ボーダーツーリズム：中国東北地方21の国境物語

朱永浩（福島大学）：中露国境貿易の過去と現在

座長：田畑伸一郎（北海道大学）

討論：堀江典生（富山大学）松野周治（立命館大学）高屋和子（立命館大学）

13：00～15：00 セッション4 蒙中露辺境における多民族共生（東北大企画）

広川佐保（新潟大学）：近代モンゴルに暮らした漢人の歴史—「旅蒙商」から

「労働者」そして「蒙古帰僑」へ
サヴェリエフ・イゴリ（名古屋大学）：第一次世界大戦期の在露中国人の越境的空間

藤原克美（大阪大学）：満洲国における百貨店の役割
橘 誠（下関市立大学）：モンゴル国における関税をめぐる露中の「交渉」：20世紀初頭の外交と多民族共生

座長：堀江典生（富山大学）
討論者：岡 洋樹（東北大学）

15:00 閉会の辞

d. 関西地域研究会

日時：2019年4月20日（土）13:30～17:00

場所：大阪教育大学天王寺キャンパス中央館2階215教室

※ 国際高麗学会と北東アジア学会の共同研究会

第1報告

大西広（慶應大学経済学部）「北東アジアにおける米国覇権の終焉と日韓関係」

コメンテーター：勝村誠（立命館大学政策科学部）

司会：松野周治（立命館大学・名）

第2報告

チョ・チャンヒョン（立命館大学大学院国際関係研
「北朝鮮の核保有の論理に関する考察—北朝鮮の官僚・研究者へのインタビュー調査を中心に」

コメンテーター：川口智彦（日本大学国際関係学部）

司会：鄭雅英（立命館大学経営学部）

e. 西日本地域研究会・シンポジウム

北東アジア学会、立命館大学アジア・日本研究所、立命館大学コリア研究センター共催

日時：2019年5月26日（日）10:30～17:30

場所：立命館アジア太平洋大学（〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1）

第1部（10:30～12:30）（F棟211教室）司会：松野周治（立命館大学名誉教授）

中戸祐夫（立命館大学教授「米朝首脳会談から見る朝鮮半島の非核化」

討論者：伊集院敦（日本経済研究センター主席研究員）

金容賛（立命館大学非常勤講師）「韓国の独立門が象徴してきた様々な『独立』」

討論者：三村光弘（環日本海経済研究所主任研究員）

第2部（14:00～17:30）（F棟210教室）

シンポジウム「転換期の北東アジアと日韓・日朝関係」

コーディネーター：中戸祐夫（立命館大学）

基調講演「韓日関係の現況と展望」

曹喜庸（Cho Hee-yong・韓国国立外交院日本研究センター前所長）

報告：小川雄平（九州情報大学教授）「中朝関係からの示唆」

総田芳憲（立命館アジア太平洋大学教授）「韓国・北朝鮮への日本の『価値観』外交」

討論：文京洙（立命館大学特任教授）、勝村誠（立命館大学教授）

f. 中部甲信越地域研究会

日時 7月6日（土）15:15～17:15

テーマ ロシアと北朝鮮の市場経済改革—意義と実態—
発表（1）木村雅則氏（松本歯科大学）

「ネップ期における市場経済導入と現代ロシアの市場経済化」

発表（2）柳学洙氏（桜美林大学）

「朝鮮民主主義人民共和国の工業構造と経済改革—市場化と自力更生の共存は可能か—」

場 所 信州大学経法学部 新棟4階401演習室

g. 関東地域研究会

日時 2019年8月1日（木）13:00-18:00

会場 慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟A会議室

林亮（創価大学教授）「中国軍近代化と北東アジア」
討論者 佐渡友哲（日本大学法学部）

曹鳴（創価大学大学院）「習近平の対外政策—毛沢東、鄧小平、江沢民の世界認識の継承—」

討論者 吳茂松（慶應義塾大学経済学部）

陳垚旭（創価大学大学院）「『噴青』を代表とする中国青年層の対日新思考」

討論者 杉本勝則（北京外国語大学客員教授）

鄭珂馨（日本大学大学院）「中国におけるシェアリング・エコノミーの一考察—自転車シェアリングを中心に—」

討論者 駒形哲也（慶應義塾大学経済学部）

吳迪（慶應義塾大学大学院）「近代中国憲法学の頂点——保廷樑と彼の大清憲法論」

討論者 吳茂松（慶應義塾大学経済学部）

杜世鑫（日本伝統ビューロー国際交流研究所研究員）「転換期の中国政治——1950年代の中央書記処と大衆運動を中心に」
討論者 大西広（慶應義塾大学経済学部）

2.4. 国際交流事業→松野会長より報告

第24回大会への韓国東北アジア経済学会、中国延辺大学経済管理学院からの参加と交流。

2.5. 編集委員会（金編集委員長）→金編集委員長より報告

『北東アジア地域研究』第25号（2019年5月刊行：英字誌と初の統合号）について、12本の投稿があり、論文5本（うち中国語1本、英語1本）、研究ノート3本を掲載。寄稿として、第24回学術研究大会シンポジウム報告要旨、書評2点など。各位のご協力に感謝します。

2.6. 会計【当日配布資料】岡本常任理事（会計担当）より報告

a. 「地域研究会事業地域研究会等での若手研究者の報告に対する交通費補助申請書」を学会HPに掲載しているので、今後地域研究会を主催される方は申請を希望する方にアナウンスをお願いします。

- b. 2019年7月31日で2018/19年度会計は閉鎖されます。当該年度内に支払いが生じて会計との精算が必要なものについては、7月26日頃までに会計へ精算をご請求下さい。
3. 協議事項
- 3.1. 人事→承認
- a. 新入会員の入会（別紙回覧資料参照）2名：昔宣希（長崎大学・一般）、陳怡禎（日本大学・一般）【回覧資料】
- b. 退会希望者 なし
- c. 会員種別変更 なし
- 3.2. 2018/19年度学会優秀論文賞・学生奨励賞募集結果と審査体制について
応募3件【回覧資料】→審査委員長専任。
- 3.3. 第25回大会準備状況 大会プログラム【当日配布資料】→分科会座長、討論者候補を決定、依頼、確定へ。金曜日懇親会は理事会メールで広報
- 3.4. 学術会議等→意見聴取が来ているが特に意見はないため静観
GEAHSS加盟学会への提案と意見聴取「今後のGEAHSSのありかたについて」【資料4】
- 3.5. 国際交流→承認
- a. 韓国に続き、中国における東北アジア研究機関との定期的学術交流の実現を目指し、
- ① 吉林大学東北アジア研究院・東北アジア研究センターとの学術交流研究会を実施する（2019年7月15日、長春市、松野会長・朱永浩理事が報告予定）。→別紙でシンポジウムスケジュールを報告
 - ② 2019年図們江フォーラム（延辺大学創立70周年記念、2019年9月21日～23日、延吉市、予定）に松野会長、三村副会長（旅費自弁）、川口常任理事・事務局次長が参加、講演、報告を行う。
- b. 韓国東北アジア経済学会との間で、大会相互参加
- など、学術交流を継続する（2019年9月、第25回大会への招聘・共通論題報告依頼、2020年2月予定の韓国東北アジア経済学会年次大会への派遣など）。
- 3.6. 第26回学術研究大会（2020）並びに開催校について→新潟県立大学。次回大会総会で承認
- 3.7. 学会HP更新作業→松野会長から報告。継続審議
関連リンク（確認・追加など）、学会誌・英文執筆要項（FES“Instructions for Authors”を基礎に作成？）、FES第13号～第15号の目次・「終刊・統合のお知らせ」、各種申請書様式（入会、退会申請書への会員種別追加）
英文HP
- 3.8. 学会和雑誌の価格改定について(会計より)→第一案で承認
本会の学術和雑誌である「北東アジア研究」の価格は現在、本体1389円、消費税111円、税込で1500円となっている。2019年10月1日より消費税率が8%から10%へ引き上げられる予定であるため、価格を改定しなければならない。については2つの案を提案するのでご審議願いたい。
第一案：本体を1364円に値下げし、消費税を136円として、税込1500円を維持する。
第二案：本体価格1389円は維持し、消費税は138円として、税込1527円とする。
- 3.9. その他
つうしん第53号の発行（大会プログラムその他）→25回大会のプログラム。韓国、吉林との国際交流。24回大会の修正など。
- 3.10. 次回日程
9月28日（土）10:00 第9期第5回理事会（信州大学経済学部）
9月29日（日）13:20 2019/20総会（同）

9. 2018/19年度総会開催報告

北東アジア学会 2018/19年度総会議案

日時：2019年9月29日（日）13:20～14:20

会場：信州大学経法学部新棟1階第1講義室

1. 議長選出

2. 報告事項

2.1. 事務局

- 新入会員の登録・退会者の登録抹消(随時)、会費請求、現状届の受付と会員情報更新。学会ホームページ更新。
- 学会つうしん No.52（2019年2月28日）発行。
発行日訂正：2018年→2019年

- 日本学術会議地域研究学会連絡協議会(JCASA)、地域研究コンソーシアム(JCAS: Japan Consortium for Area Studies)、人文・社会科学系男女共同参画推進学協会連絡会(通称ギース GEAHSS)等との連絡。
- 事務局住所変更（2019年9月1日～2020年9月25日）
〒411-8555 静岡県三島市文教町2-31-145
日本大学 国際関係学部 川口智彦研究室気付
- 2.2. 北東アジア学会優秀論文賞の選考結果
- 下記論文に2018/19年度北東アジア学会優秀論文

賞を授与する。

柳学洙「朝鮮民主主義人民共和国の工業配置政策-企業レベルデータを用いた均等配置原則の実証的検証-」『アジア経済』(59) 2、2~27頁

審査体制：三村光弘委員長、川口智彦委員

2.3. 北東アジア学会学生奨励賞

- 2018/19年度は応募が無かった。

2.4. 会員動向

- 会員数 202 名（一般 159、学生 37、優待 3、賛助 3。海外通信会員と名誉会員を含まず。2019 年 7 月 31 日現在）。昨年同日比 4 名増。なお、2019 年 7 月 31 日時点の名誉会員数は 8、海外通信会員数は 18。

2.5. 「北東アジア学会理事選挙実施細則」第 2 条を改正する (2019 年 9 月 28 日北東アジア学会第 9 期第 5 回理事会)。【資料 2.5】

改正理由：会員種別増加のため

2.6. その他

3. 2018/19 年度北東アジア学会優秀論文賞の賞状授与

4. 協議事項

4.1. 2018/19 年度事業報告、決算報告、会計監査報告【資料 4.1】

4.1.1. 第 24 回学術研究大会の開催

- 2018 年 9 月 29 日、立命館大学びわこ草津キャンパスにおいて、「北東アジア地域協力の新段階構築にむけて」をテーマに開催、シンポジウム「日中関係新段階の構築に向けて—北東アジアの中で—」（立命館大学経済学部との共催）、並びに会員懇親交流会を実施した。ただし、2 日目分科会は台風接近により中止し、報告原稿（フルペーパー）の 9 月 30 日までの提出によって報告とし、中止となった分科会については、地域研究会やシンポジウムとしての開催が追求され、実施された。大会最終結果は「つうしん」52 号及び会誌第 25 号参照。
- なお、2 日目に予定されていた会員総会は、メールにより開催（2018 年 10 月 10 日~20 日）され、全議案が承認された。

4.1.2. 理事会・常任理事会

- 第 9 期第 3 回理事会（2018 年 9 月 29 日）立命館大学びわこ草津キャンパス
- 第 9 期第 3 回常任理事会（2019 年 1 月 26 日）富山大学五福キャンパス
- 第 9 期第 4 回常任理事会（2019 年 4 月 20 日）大阪教育大学天王寺キャンパス
- 第 9 期第 4 回理事会（2019 年 7 月 6 日）信州大学経法学部

4.1.3. 学会誌編集委員会

- 『北東アジア地域研究』第 25 号（2019 年 5 月発

行）

- 論文投稿期限は本年 11 月末

4.1.4. 地域研究会

- 北東アジア学会、立命館大学アジア・日本研究所共催特別ワークショップ（2018 年 11 月 23 日、立命館大学）つうしん No.52
- 関東地域研究会・公開セミナー（2018 年 12 月 2 日、慶應義塾大学）つうしん No.52
- 人間文化研究機構基幹研究プロジェクト「北東アジア地域研究」/北東アジア学会連携シンポジウム「北東アジアの鳴動：朝鮮半島、中露国境地域、蒙中露辺境」（2019 年 1 月 26~27 日、富山大学）つうしん No.52
- 関西地域研究会（国際高麗学会と北東アジア学会の共同研究会、2019 年 4 月 20 日）大阪教育大学
- 西日本地域研究会・シンポジウム（北東アジア学会、立命館大学アジア・日本研究所、立命館大学コリア研究センター共催、2019 年 5 月 26 日、立命館アジア太平洋大学）
- 中部甲信越地域研究会（2019 年 7 月 6 日、信州大学）
- 関東地域研究会（2019 年 8 月 1 日、慶應義塾大学）

4.1.5. 国際交流

4.1.5.1. 韓国東北亜経済学会との交流

- 同学会大会（2019 年 2 月 14 日、成均館大学校）に、松野周治（学会代表）・川口智彦（同）、縄倉晶雄（優秀論文賞副賞）李晨（同）、金早雪の各会員が参加、研究報告と交流を行った。

4.1.5.2. 中国吉林大学、延辺大学との交流

- 松野周治、朱永浩の 2 名が 2019 年 7 月 13 日~15 日、吉林大学東北亜研究院を訪問、「『一帯一路』視野下の北東アジア経済協力国際シンポジウム」（吉林大学東北亜研究院、日本北東アジア学会共催、7 月 14 日、吉林大学）で研究報告したほか、于瀟院長、扈徳良、王彦軍、呉昊の各副院長らと交流、北東アジア学会との継続的交流について基本合意した。
- 松野周治、三村光弘、川口智彦の 3 名が、「2019 図們江フォーラム」（9/22~23、延辺大学）に報告者、討論者として参加するとともに、各国並びに中国各地からの参加者と学術交流した。なお、フォーラムとは別に松野は経済管理学院で講演した。

4.2. 2019/20 年度事業計画、予算【資料 4.2】

4.2.1. 第 25 回大会（大会予稿集・プログラム等参照）

- 共通論題シンポジウムおよび 11 分科会（うち企画分科会 1、特別セッション 1、韓国・東北亜経済学会共催 2）。報告者 38 名、討論者 35 名。人間文化研究機構基幹研究プロジェクト「北東アジア地域研究」（北海道大学拠点）、韓国・東北亜細

亜経済学会との共催、信州大学大学院修士修了生特別セッション。

海外からの報告：韓国東北亜経済学会 7、中国吉林大学 4、中国中山大学 3、中国延辺大学 2

4.2.2. 理事会・常任理事会

- 理事会：第9期第5回（2019年9月28日）開催。第6回（2020年7月）、第7回（2020年9月、大会時）を予定する。
- 常任理事会：第9期第5回（2020年1月）、第6回（2020年4月）を予定する。

4.2.3. 学会誌編集委員会

- 『北東アジア地域研究』第26号（2020年5月）を発行する。

4.2.4. 第10期役員(任期:2020年10月～2023年9月)選出

- 第10期理事選挙を実施し、役員を選出する（郵送による全員投票→理事会→総会）。
- 実施細目等は選挙管理委員会および常任理事会で決定する。

4.2.5. 地域研究会

- 北海道・東北、関東・東京、新潟・甲信越、関西、西日本・九州など(地域区分等は一例)で地域研究会開催を積極的に進める。そのため、若手研究者の報告に対する旅費補助、会員外の報告者・討論者に対する報告謝礼、会場費などの経費支出を学会として支援する。
- 2020年第1回関西地域研究会を2020年1月（第5回常任理事会後）、第2回を2020年4月（第6回常任理事会後）に開催する。報告者を公募する。

4.2.6. 2019/20年度北東アジア学会優秀論文賞および学生奨励賞の募集

- 2020年1月開催予定の第5回常任理事会で募集要項を確認、募集を開始する。

4.2.7. 国際交流

4.2.7.1. 韓国東北亜経済学会などとの交流

- 第25回大会に前会長他6名が参加（うち、3名招待）。

- 韓国東北亜経済学会大会(2020年2月予定)に学会優秀論文賞受賞者、学会代表を派遣する。

4.2.7.2. 延辺大学、吉林大学など中国との交流

- 25回大会に延辺大学より権哲男・経済管理学院院長、安国山・朝鮮半島研究院経済研究所長(共通論題報告者として招待)、吉林大学東北亜研究院より龐徳良・副院長、李紅梅・同副教授、崔健・同教授、林麗敏氏、中山大学国際関係学院より魏志江・教授、陳卓・ポスドク副研究員、魏珊氏が参加・報告。

- 延辺大学、吉林大学等での定期的学術交流の実現を引き続き目指し、同大学で開催されるシンポジウム等に代表を派遣する。

4.2.8. 学術会議等国内他機関・他団体との協力と交流

- 日本学術会議地域研究会連絡協議会（JCASA）、地域研究コンソーシアム（JCAS）、等との連絡、協力をさらに進める。

4.2.9. 学会HPを更新し（Word Pressによる入力、英文頁など）、2020年前半に移行する。

- 4.2.10. 会誌論文が国内外で広く読まれる条件を拡大するため、J-STAGEに参加し、電子頒布を再開する。<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/char/ja>

- 4.2.11. ※現状:1号～20号(2014年)が国立国会図書館(デジタル)で公開。

4.2.12. 学会つうしん発行

- 学会諸活動、理事会の内容などを会員に伝えるつうしんを適時発行する（No.53は2019年11月頃を予定）。

4.3. 次回、次々回大会について

- 第26回大会を新潟県立大学(新潟市)で開催する。日程は2020年9月26日(土)～27日(日)で調整中。

- 第27回大会(2021年)の開催校を募集する。

4.4. その他

2018/2019年度(2018年8月1日～2019年7月31日) 決算報告

2019年8月27日

科目・事業	2018/2019年度 予算額(A)	2018/2019年度 決算額(B)	差引額 (B-A)	備考
収入の部	¥7,722,062	¥8,073,453	¥351,391	
經常収入の部	¥1,445,500	¥1,796,891	¥351,391	
入会金収入	¥0	¥0	¥0	
一般会員会費収入	¥1,280,000	¥1,415,000	¥135,000	
学生会員会費収入	¥80,000	¥90,000	¥10,000	
優待会員会費収入	¥15,000	¥15,000	¥0	
賛助会員会費収入	¥60,000	¥60,000	¥0	
特別賛助会員会費収入	¥0	¥0	¥0	
事業収入	¥10,500	¥9,000	¥-1,500	学会誌売り上げ
寄付金収入	¥0	¥50,000	¥50,000	
受取利息	¥0	¥41	¥41	
雑収入	¥0	¥157,850	¥157,850	第24回大会(立命館大BK)の事業費残金返金及び、立命館大からの大会開催補助金
その他の資金収入の部	¥0	¥0	¥0	
特定預金取崩収入	¥0	¥0	¥0	
前期繰越正味財産の部	¥6,276,562	¥6,276,562	¥0	
前期繰越正味財産	¥6,276,562	¥6,276,562	¥0	前年度からの繰越金(2017/18年度→2018/19年度)

科目・事業	2018/2019年度 予算額(A)	2018/2019年度 決算額(B)	差引額 (B-A)	備考
支出の部	¥7,722,062	¥8,073,453	¥351,391	
經常支出の部	¥2,466,000	¥1,842,038	¥-823,962	
事務局・理事会	¥500,000	¥169,117	¥-330,883	学会HP更新、英文HP作成、通信費、振込手数料、サーバー管理費など
大会開催事業	¥500,000	¥500,000	¥0	第25回大会(信州大)事業費
30周年大会特別事業費	¥0	¥0	¥0	
地域研究会事業	¥500,000	¥107,840	¥-392,160	
和雑誌編集委員会	¥500,000	¥526,240	¥26,240	北東アジア研究25号発行・郵送費、非会員査読謝金
英雑誌編集委員会	¥0	¥0	¥0	2017/18年度総会にて英雑誌の和雑誌への統合が承認された。よって2018/19年度予算ではこの科目の支出はない。
学会優秀論文賞事業	¥2,000	¥1,491	¥-509	受賞者へ賞状発行及び送付。2017/18年度においては受賞者は2名いたので、2名分を支出
学会学生奨励賞事業	¥3,000	¥550	¥-2,450	受賞者へ賞状発行
韓国東北亜経済学会交流事業	¥200,000	¥138,800	¥-61,200	韓国東北亜経済学会へ会員を派遣する。優秀論文賞受賞者に対しては副賞として韓国東北亜経済学会への派遣が与えられるが、そのための費用もここに含まれる。2017/18年度学会優秀論文賞受賞者が2名となったため、2018/19年度予算においては派遣費用を4名分計上
新たな学術交流協定締結準備事業	¥150,000	¥100,000	¥-50,000	吉林大学でのシンポジウム、及び吉林大学東北アジア研究院との交流会員2名を派遣。
日本学術会議等交流事業	¥11,000	¥0	¥-11,000	JCASA(地域研究学会連絡協議会:地域研究コンソーシアム関連組織)分担金は二年に一回なので2018/19年度において支払が生じると予想していたが、先方から請求がなかった。JCASA総会へは会員の参加がなく、参加費の発生もなかった。
周年記念事業積立	¥100,000	¥100,000	¥0	2018/19年度積立金。各年度につき10万円
期末正味財産合計の部	¥5,256,062	¥6,431,415	¥1,175,353	
期末正味財産合計	¥5,256,062	¥6,431,415	¥1,175,353	次年度への繰越金(2018/19年度→2019/20年度)

科目・事業	2018/2019年度 予算額(A)	2018/2019年度 決算額(B)	差引額 (B-A)	備考
資産の部	¥1,500,000	¥1,500,000	¥0	
固定資産の部	¥1,500,000	¥1,500,000	¥0	
定額貯金	¥1,500,000	¥1,500,000	¥0	
流動資産の部	¥0	¥0	¥0	
有価証券	¥0	¥0	¥0	

科目・事業	2018/2019年度 予算額(A)	2018/2019年度 決算額(B)	差引額 (B-A)	備考
<特別会計>周年記念事業積立金	¥500,000	¥500,000	¥0	
積立金の部	¥500,000	¥500,000	¥0	
前年度繰り越し正味財産	¥400,000	¥400,000	¥0	2014/15年度、2015/16年度、2016/17年度、2017/18年度積立金(2014/15年度より積立開始、各年度につき10万円)
定額貯金	¥100,000	¥100,000	¥0	2018/19年度積立金

会計年度について

- 会則上の会計年度は、前年の8月1日から当年の7月31日までとなっている。
- 前年度(2017/18年度)の出納閉鎖は、2018年7月31日であった。
- 今年度(2018/19年度)の出納閉鎖は、2019年7月31日である。

会計監査報告

北東アジア学会2018/19年度会計(2018年8月1日から2019年7月31日まで)の決算について、決算書類と帳票類を照合精査したところ、正確に処理されていることが確認されました。

会計監事

2019年 9月 17日
村 早

会計監事

2019年 8月 27日
藤 久美子

2019/2020年度(2019年8月1日～2020年7月31日) 予算案

2019年9月28日

科目・事業	2018/2019年度 予算額(A)	2019/2020年度 予算額(B)	差引額 (B-A)	備考
収入の部	¥7,722,062	¥7,906,915	¥184,853	
経常収入の部	¥1,445,500	¥1,475,500	¥30,000	
入会金収入	¥0	¥0	¥0	
一般会員会費収入	¥1,280,000	¥1,310,000	¥30,000	
学生会員会費収入	¥80,000	¥100,000	¥20,000	
優待会員会費収入	¥15,000	¥15,000	¥0	
賛助会員会費収入	¥60,000	¥40,000	¥-20,000	
特別賛助会員会費収入	¥0	¥0	¥0	
事業収入	¥10,500	¥10,500	¥0	学会誌売り上げ
寄付金収入	¥0	¥0	¥0	
受取利息	¥0	¥0	¥0	
雑収入	¥0	¥0	¥0	前年度決算では第24回大会開催費用残金について、開催校による返納を受け返納額をこの科目に計上したが、この返納は自主的なものであるため、予算としては見込まない。
その他の資金収入の部	¥0	¥0	¥0	
特定預金取崩収入	¥0	¥0	¥0	
前期繰越正味財産の部	¥6,276,562	¥6,431,415	¥154,853	
前期繰越正味財産	¥6,276,562	¥6,431,415	¥154,853	前年度からの繰越金(2018/19年度→2019/20年度)
支出の部	¥7,722,062	¥7,906,915	¥184,853	
経常支出の部	¥2,466,000	¥2,425,000	¥-41,000	
事務局・理事会	¥500,000	¥500,000	¥0	学会HP更新、英文HP作成、通信費、振込手数料、サーバー管理費、理事会選挙費など
大会開催事業	¥500,000	¥500,000	¥0	第26回大会事業費
30周年大会特別事業費	¥0	¥0	¥0	
地域研究会事業	¥500,000	¥500,000	¥0	会場費、若手研究者の報告に際して交通費補助など
和雑誌編集委員会	¥500,000	¥500,000	¥0	北東アジア研究26号の発行費(各号あたり50万円)。
学会優秀論文賞事業	¥2,000	¥1,000	¥-1,000	受賞者への賞状発行経費。
学会学生奨励賞事業	¥3,000	¥3,000	¥0	受賞者への賞状発行経費
韓国東北亜経済学会交流事業	¥200,000	¥150,000	¥-50,000	韓国東北亜経済学会へ会員を派遣する。なお、優秀論文賞受賞者に対しては副賞として韓国東北亜経済学会への派遣が与えられるが、そのための費用もここに含まれる。
新たな学術交流協定締結準備事業	¥150,000	¥150,000	¥0	吉林大学等との交流を模索するために会員を派遣する。(会から3名、一人上限五万円)
日本学術会議等交流事業	¥11,000	¥21,000	¥10,000	JCASA(地域研究会連絡協議会:地域研究コンソーシアム関連組織)分担金およびJCAS(地域研究コンソーシアム)総会参加費など
周年記念事業積立	¥100,000	¥100,000	¥0	2019/20年度積立金。各年度につき10万円
期末正味財産合計の部	¥5,256,062	¥5,481,915	¥225,853	
期末正味財産合計	¥5,256,062	¥5,481,915	¥225,853	次年度への繰越金(2018/19年度→2019/20年度)
資産の部	¥1,500,000	¥1,500,000	¥0	
固定資産の部	¥1,500,000	¥1,500,000	¥0	
定額貯金	¥1,500,000	¥1,500,000	¥0	
流動資産の部	¥0	¥0	¥0	
有価証券	¥0	¥0	¥0	
<特別会計>周年記念事業積立金	¥500,000	¥600,000	¥100,000	
積立金の部	¥500,000	¥600,000	¥100,000	
前年度繰り越し正味財産	¥400,000	¥500,000	¥100,000	2014/15年度～2018/19年度積立金(2014/15年度より積立開始、各年度につき10万円)
定額貯金	¥100,000	¥100,000	¥0	2019/20年度積立金

発行：北東アジア学会事務局 〒411-8555 静岡県三島市文教町2-31-145 日本大学 国際関係学部
 川口智彦研究室気付 (2019年9月1日～2020年9月25日)
 ウェブサイト <http://anears.net/> 会員専用ページ：アカウント；anears パスワード；TOra1001
 電子メール jimukyoku@anears.net